

# 美学・西洋美術史専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日	講時	頁
美学・西洋美術史概論	美学・西洋美術史概論	2	FONGARO ENRICO	3	水	2	1
美学・西洋美術史概論	アーティストの誕生:ルネサンス以降における「アート」とその制度の	2	足達 薫	4	月	4	2
美学・西洋美術史基礎講読	西洋美術史文献精読	2	森田 優子	3	水	4	3
美学・西洋美術史基礎講読	西洋美術史文献精読	2	森田 優子	4	水	4	4
美学・西洋美術史各論	ネーデルラント美術における共感表現、スペクタクル、美術市場	2	尾崎 彰宏	5	金	3	5
美学・西洋美術史各論	美学・西洋美術史各論	2	FONGARO ENRICO	6	水	2	6
美学・西洋美術史各論	古代ギリシアのヘレニズム美術	2	芳賀 京子	集中(5)			7
美学・西洋美術史演習	美学・西洋美術史演習	2	FONGARO ENRICO	5	木	5	8
美学・西洋美術史演習	西洋美術に関する方法論の諸問題	2	尾崎 彰宏	5	金	4	9
美学・西洋美術史演習	基本文献の批判的読解に基づく西洋美術史研究の基礎的方法の	2	足達 薫	6	月	5	10
美学・西洋美術史演習	西洋美術に関する方法論の諸問題	2	尾崎 彰宏	6	金	4	11
美学・西洋美術史実習	西洋美術史の基礎知識と調査入門	2	尾崎 彰宏	5	火	3・4	12
美学・西洋美術史実習	美術作品の調査法について	2	尾崎 彰宏・足達 薫	6	火	3・4	13

科目名：美学・西洋美術史概論／ Aesthetics and History of European Fine Arts (General Lectur

曜日・講時：前期 水曜日 2講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：FONGARO ENRICO (准教授)

講義コード：LB33201, 科目ナンバリング：LHM-ART202J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：**

美学・西洋美術史概論

**2. Course Title (授業題目)：**

Aesthetics and History of European Fine Arts (General Lecture)

**3. 授業の目的と概要：**

西洋美学と西洋美術史の基本的な知識を得た上で、その翻訳の問題について理解する。東洋の美学との比較するための基盤をつくる。

**4. 学習の到達目標：**

美、美的経験など、美学の基本的概念について古代ギリシャから現代までを概観する。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

1. 美学とは何か (1)
2. 美学とは何か (2)
3. 美とは何か (1)
4. 美とは何か (2)
5. 美とは何か (3)
6. 美とは何か (4)
7. 美とは何か (5)
6. 美とは何か (6)
7. 芸術とは何か (1)
8. 芸術とは何か (2)
9. 芸術とは何か (3)
10. 芸術作品とは何か (1)
11. 芸術作品とは何か (2)
12. 芸術家とは誰か
13. 美的経験とは何か
14. まとめ
15. 試験

**6. 成績評価方法：**

定期試験 (100%)。

**7. 教科書および参考書：**

授業中に適宜資料を配布する。

**8. 授業時間外学習：**

Some materials will be handed during the lessons.

**9. その他：なし**

科目名：美学・西洋美術史概論／ Aesthetics and History of European Fine Arts (General Lectur

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時

semester：4, 単位数：2

担当教員：足達 薫 (教授)

講義コード：LB41403, 科目ナンバリング：LHM-ART202J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：**

アーティストの誕生：ルネサンス以降における「アート」とその制度の社会史

**2. Course Title (授業題目)：**

The Birth of Artist: A Social History of “Art” and its System since the Renaissance

**3. 授業の目的と概要：**

ルネサンス以降の美術史展開を理解するうえで、アーティストとアートという概念の形成過程を理解することは必要不可欠です。その形成過程を具体的な作品、事例、文献資料を通じてたどりながら、美術史の基本的な方法およびルネサンス以降の美術史の大きな流れについて理解することがこの授業の目的です。

**4. 学習の到達目標：**

アーティストとアートという概念の形成過程、美術史の基本的な方法であるイコノグラフィーと様式・技法の分析、さらにルネサンス以降の美術史における美術史の大きな流れについての基本的知識および分析的視点を修得すること。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

14 回目までを講義、15 回目を問題提起及び試験とする。

- 1 アーティストとアートの社会史：その目的と課題
- 2 アート・ワールドの形成とその特質
- 3 イコノグラフィー (1) キリスト教信仰の主題を讀解するための基礎知識
- 4 イコノグラフィー (2) ルネサンスにおけるイメージの活用方法
- 5 様式と技法の分析：作品の視覚的分析のための基本的知識
- 6 署名と自画像：アーティスト誕生を示す兆候
- 7 アーティスト誕生前夜の美術制作：ギルランダイオ《マギの礼拝》を例にして (1)
- 8 アルティザンからアーティストへの変身：ギルランダイオ《マギの礼拝》を例にして (2)
- 9 学校の教師になる美術家たち：美術アカデミーの誕生とその影響
- 10 アカデミズムと新古典主義：権威と創造のはざままで
- 11 アカデミズムへの挑戦と解体：ターナーからマネへ
- 12 アーティストの時代：ファン・ゴッホとピカソ
- 13 20 世紀のアーティスト：デュシャンから 21 世紀へ
- 14 アーティストとアートの社会史：美術史における意義と可能性
- 15 21 世紀のアーティスト：および学期末試験

**6. 成績評価方法：**

出席と期末試験（記述式）を総合して評価します。

**7. 教科書および参考書：**

授業で配布する資料、あるいは授業中のスライドで示します。

**8. 授業時間外学習：**

配布する資料（前回からの流れの確認、引用文、作品情報、さらに焦点や重要例に関するポイントをまとめたもの）を手がかりにして、自分で授業を再現できるかどうか試すという予習ないし復習をおすすめします。

**9. その他：なし**

科目名：美学・西洋美術史基礎講読／ Aesthetics and History of European Fine Arts (Introductory R

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

Semester：3, 単位数：2

担当教員：森田 優子（非常勤講師）

講義コード：LB33407, 科目ナンバリング：LHM-ART206J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：**

西洋美術史文献精読

**2. Course Title (授業題目)：**

Intensive Reading of Western Art History

**3. 授業の目的と概要：**

欧文文献の精読を行い、美術作品を研究する基礎を身に着ける。

**4. 学習の到達目標：**

西洋美術史に関する英語文献を正確に読めるようになる。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

1. イントロダクション

2. 講読 (1)

3. 講読 (2)

4. 講読 (3)

5. 講読 (4)

6. 講読 (5)

7. 講読 (6)

8. 講読 (7)

9. 講読 (8)

10. 講読 (9)

11. 講読 (10)

12. 講読 (11)

13. 講読 (12)

14. 講読 (13)

15. 試験

**6. 成績評価方法：**

授業への出席・発表 (60%)、試験 (40%)

**7. 教科書および参考書：**

古代ギリシャ・ローマ神話にかんする美術作品についての文献を精読する。

Texts on works of art about ancient Greek and Roman myths. References are handed out at every class.

**8. 授業時間外学習：**

授業前に自分の分担部分を和訳し、それ以外の部分にも目を通しておくこと。

Students are required to read the designated textbook and translate its own assigned part for each class.

**9. その他：なし**

科目名：美学・西洋美術史基礎講読／ Aesthetics and History of European Fine Arts (Introductory R

曜日・講時：後期 水曜日 4 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：森田 優子 (非常勤講師)

講義コード：LB43407, 科目ナンバリング：LHM-ART206J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：**

西洋美術史文献精読

**2. Course Title (授業題目)：**

Intensive Reading of Western Art History

**3. 授業の目的と概要：**

西洋美術史の研究を行う上で基礎となる欧文文献の精読を行い、美術作品研究の基礎を身に着ける。そのうえで、古典語、フランス語、ドイツ語、イタリア語などにも目配りできるようになることが望ましい。

**4. 学習の到達目標：**

西洋美術史に関する英語文献を正確に読めるようになるとともに、英語以外の言語についても調べられるようになる。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

1. イントロダクション

2. 講読 (1)

3. 講読 (2)

4. 講読 (3)

5. 講読 (4)

6. 講読 (5)

7. 講読 (6)

8. 講読 (7)

9. 講読 (8)

10. 講読 (9)

11. 講読 (10)

12. 講読 (11)

13. 講読 (12)

14. 講読 (13)

15. 試験

**6. 成績評価方法：**

授業への出席・発表 (60%)、試験 (40%)。

**7. 教科書および参考書：**

古代ギリシャ・ローマ神話にかんする美術作品についての文献を精読する。

Texts on works of art about ancient Greek and Roman myths.

**8. 授業時間外学習：**

授業前に自分の分担部分を和訳し、それ以外の部分にも目を通しておくこと。

Students are required to read the designated textbook and translate its own assigned part for each class.

**9. その他：なし**

科目名：美学・西洋美術史各論／ Aesthetics and History of European Fine Arts (Special Lectur

曜日・講時：前期 金曜日 3講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：尾崎 彰宏（教授）

講義コード：LB55302, 科目ナンバリング：LHM-ART302J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：**

ネーデルラント美術における共感表現、スペクタクル、美術市場

**2. Course Title (授業題目)：**

Empathy representation in the Netherlandish art, spectacle, art market

**3. 授業の目的と概要：**

現在、研究を進行させている「西洋近世・近代美術における市場・流通・画商の地政経済史的研究」の研究成果を盛りこみながら、ネーデルラント美術の創造性がどのように生まれたのかを探っていききたい。その問題と並行して、感性論としての美術史としてアルプス以北の美術作品に見られる「視覚」の新しい試み、つまりいかに触覚的な要素が美術作品に反映しているのかアルチンボルドやボッスなどさまざまなネーデルラントの画家を例に取りながら、アプローチしていきたい。

現在研究中の課題であり、1回目の授業において、特論のおおよその見取り図を示すようにしたい。

**4. 学習の到達目標：**

美術作品の解説には、時代によってさまざまなアプローチがなされてきたが、鑑賞者の感性が作品解釈に大きなウェイトを占めること理解し、美術作品にアプローチする新たな方法論を学べる。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

- 第1回 イン트로ダクション
- 第2回 15世紀ネーデルラント絵画Ⅰ
- 第3回 15世紀ネーデルラント絵画Ⅱ
- 第4回 15世紀ネーデルラント絵画Ⅲ
- 第5回 16世紀ネーデルラント絵画Ⅰ
- 第6回 16世紀ネーデルラント絵画Ⅱ
- 第7回 16世紀ネーデルラント絵画Ⅲ
- 第8回 17世紀ネーデルラント絵画Ⅰ
- 第9回 17世紀ネーデルラント絵画Ⅱ
- 第10回 17世紀ネーデルラント絵画Ⅲ
- 第11回 レンブラントⅠ
- 第12回 レンブラントⅡ
- 第13回 レンブラントⅢ
- 第14回 18世紀ネーデルラント絵画
- 第15回 まとめ

**6. 成績評価方法：**

レポート／出席／試験を総合的に評価する。

**7. 教科書および参考書：**

講義中に指示する。

**8. 授業時間外学習：**

講義で取りあげた文献に自分で当たったり、紹介された作品を自分で見に行く努力が必要。

**9. その他：なし**

科目名：美学・西洋美術史各論／ Aesthetics and History of European Fine Arts (Special Lectur

曜日・講時：後期 水曜日 2講時

セメスター：6, 単位数：2

担当教員：FONGARO ENRICO (准教授)

講義コード：LB63206, 科目ナンバリング：LHM-ART302J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：**

美学・西洋美術史各論

**2. Course Title (授業題目)：**

Aesthetics and History of European Fine Arts (Special Lecture)

**3. 授業の目的と概要：**

西洋美学の重要文献の原文および日本語訳を読み、理解する。この文献に基づき、美学の専門的なテーマについて分析、考察する。

**4. 学習の到達目標：**

西洋美学の重要文献について取り上げ、原文および日本語訳を対照しながら、美学の専門的なテーマについて分析、考察を行う。本年度は、ハイデガーの美学を中心的に取り上げ、芸術作品とは何かについて特に論ずる。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

1. 導入 西洋美学史とは
2. 導入 現代美学について
3. 芸術作品とは
4. ハイデガーと 20 世紀の哲学
5. ハイデガーの美学：『芸術作品の起源』
6. 『芸術作品の起源』の背景としての『存在と時間』(1)
7. 『芸術作品の起源』の背景としての『存在と時間』(2)
8. 『芸術作品の起源』の背景としての『存在と時間』(3)
9. 『芸術作品の起源』(1)
10. 『芸術作品の起源』(2)
11. 『芸術作品の起源』(3)
12. 『芸術作品の起源』(4)
13. 『芸術作品の起源』(5)
14. まとめ
15. 期末試験

**6. 成績評価方法：**

定期試験 (100%)。

**7. 教科書および参考書：**

マルティン・ハイデガー、『芸術作品の起源』。

**8. 授業時間外学習：**

Martin Heidegger, Der Ursprung des Kunstwerkes.

**9. その他：なし**

科目名：美学・西洋美術史各論／ Aesthetics and History of European Fine Arts (Special Lectur

曜日・講時：前期集中 その他 連講

semester：集中(5), 単位数：2

担当教員：芳賀 京子 (非常勤講師)

講義コード：LB98824, 科目ナンバリング：LHM-ART302J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：**

古代ギリシアのヘレニズム美術

**2. Course Title (授業題目)：**

Hellenistic Greek Art

**3. 授業の目的と概要：**

ヘレニズム時代（前4世紀末～前1世紀末）のギリシア美術は、それまでの遺産を引き継ぎながらも、新しい時代にかなう形式を獲得した。様式もより多様な人々に感動を与えるものへと変化し、その後のローマ美術へと引き継がれた。肖像や戦勝モニュメントといった政治的美術、神域における宗教美術、そしてローマ人にとってのヘレニズム美術について見ていくことにしたい。

**4. 学習の到達目標：**

ヘレニズム美術の特徴について理解し、その代表作についての知識を得る。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

- 1 イントロダクション
- 2 君主の肖像 ①アレクサンドロスの肖像
- 3 君主の肖像 ②ヘレニズム君主の肖像と君主崇拝
- 4 戦争と美術 ①伝統的戦闘図
- 5 戦争と美術 ②海戦の勝利
- 6 戦争と美術 ③他者の表現
- 7 戦争と美術 ④競い合うモニュメント
- 8 神と人間 ①巨大な神々
- 9 神と人間 ②身近な神々
- 10 神と人間 ③神話表現
- 11 神と人間 ④美の多様化
- 12 ローマ人とヘレニズム美術 ①ローマ人の肖像
- 13 ローマ人とヘレニズム美術 ②ローマの神々
- 14 ローマ人とヘレニズム美術 ③私的領域
- 15 まとめ

**6. 成績評価方法：**

レポートによる

**7. 教科書および参考書：**

参考書：芳賀京子・芳賀満『西洋美術の歴史1 古代』中央公論新社、2017年

**8. 授業時間外学習：**

配布資料を用いて復習するとともに、授業のなかで興味を持ったテーマについて、自分で調べ、考察する。

**9. その他：なし**

科目名：美学・西洋美術史演習／ Aesthetics and History of European Fine Arts (Seminar)

曜日・講時：前期 木曜日 5講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：FONGARO ENRICO (准教授)

講義コード：LB54502, 科目ナンバリング：LHM-ART306J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：**

美学・西洋美術史演習

**2. Course Title (授業題目)：**

Aesthetics and History of European Fine Arts (Seminar)

**3. 授業の目的と概要：**

西洋美学の重要文献の原文および日本語訳を精読し、理解する。美学の専門的なテーマについて分析、発表し、議論をする能力を養う。

**4. 学習の到達目標：**

西洋美学の重要文献について取り上げ、原文および日本語訳を対象しながら、美学の専門的なテーマについて分析、発表し、議論を行う。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

1. ドゥルーズとは誰か
2. ドゥルーズとシネマ
3. 『シネマ1』：運動に関するテーゼ
4. 『シネマ1』：フレームとショット
5. 『シネマ1』：モンタージュ
6. 『シネマ1』：モンタージュ
7. 『シネマ1』：イメージとは
8. 『シネマ1』：知覚イメージ
9. 『シネマ1』：感情イメージ
10. 『シネマ1』：欲動イメージ
11. 『シネマ1』：行動イメージ
12. 『シネマ2』：時間イメージ
13. 『シネマ2』：時間イメージ
14. 『シネマ2』：時間イメージ
15. 試験

**6. 成績評価方法：**

授業中に指示した文献に関する口頭試験 (100%)。

**7. 教科書および参考書：**

ジル・ドゥルーズ、『シネマ1、運動イメージ』、『シネマ2、時間イメージ』。

**8. 授業時間外学習：**

Gilles Deleuze, Cinema 1, L' image-mouvement; Cinema 2, L' image-temps.

**9. その他：**なし毎回の授業後に、授業でとりあげた映画を見るのが必須である。映画の上映については授業時に詳しく説明する。

科目名：美学・西洋美術史演習／ Aesthetics and History of European Fine Arts (Seminar)

曜日・講時：前期 金曜日 4 講時

semester：5, 単位数：2

担当教員：尾崎 彰宏（教授）

講義コード：LB55405, 科目ナンバリング：LHM-ART306J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：**

西洋美術に関する方法論の諸問題

**2. Course Title (授業題目)：**

Multifaceted problems of methodology on Western art history

**3. 授業の目的と概要：**

西洋美術史の雑誌論文や話題になった研究書を取りあげ、それを熟読し、その問題点や研究上活用できる研究方法について学び、議論を重ねていく。The Art Bulletin, Simiolus, Netherlands Kunsthistorisch Jaarboek に掲載された論文を中心に取りあげる。

**4. 学習の到達目標：**

西洋美術史の最新研究にふれながら、ルネサンス以降の美術作品の研究動向を熟知できる。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

第1回 イン트로ダクション

第2回 イタリア・ルネサンス美術関係文献 I

第3回 イタリア・ルネサンス美術関係文献 II

第4回 イタリア・ルネサンス美術関係文献 III

第5回 ネーデルラント美術関係文献 I

第6回 ネーデルラント美術関係文献 II

第7回 ネーデルラント美術関係文献 III

第8回 17世紀オランダ美術関係文献 I

第9回 17世紀オランダ美術関係文献 II

第10回 17世紀フランドル美術関係文献 I

第11回 17世紀フランドル美術関係文献 II

第12回 近世・近代美術関係文献 I

第13回 近世・近代美術関係文献 II

第14回 近世・近代美術関係文献 III

第15回 まとめ

**6. 成績評価方法：**

出席／平常点／レポートを総合的に評価する。

**7. 教科書および参考書：**

教室で指示する。

**8. 授業時間外学習：**

欧文の論文を前もって予習してくる必要がある。最新の論文であるから予習には相当の時間をかけて勉強することが求められる。また、そこで論じられていること、あるいは派生することを考えていくために、関連文献にあたる必要がある。発表者は学期に一度、担当論文を全訳する必要がある、計画的に自主的な勉強を続ける必要がある。

**9. その他：なし**

科目名：美学・西洋美術史演習／ Aesthetics and History of European Fine Arts (Seminar)

曜日・講時：後期 月曜日 5講時

セメスター：6, 単位数：2

担当教員：足達 薫 (教授)

講義コード：LB61503, 科目ナンバリング：LHM-ART306J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

基本文献の批判的読解に基づく西洋美術史研究の基礎的方法の訓練。

2. Course Title (授業題目)：

Exercise of basic methods of art history research based on critical reading of basic literature

3. 授業の目的と概要：

西洋美術史に関する一次資料の批判的読解(正確な訳、歴史的文脈の特定、作者及び作品に関する資料調査及び分析、研究史調査)を通じて、西洋美術史研究の基本的方法を修得します

4. 学習の到達目標：

西洋美術史研究の基本的方法を習得し、適切な発表(レポート、論文、プレゼンテーション、ポスター等)ができるようになること。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

西洋美術史における一次資料(日本語版と英語版を扱いますが、適宜原テキストと対照します)の訳及び内容註、調査及び分析に関する発表とそれを素材とする分析的議論を行います。

1 授業の概要——文献紹介とスケジュール設定

2 批判的読解——読解の方針、発表の基本的な方法

3 一次資料を作品分析に活用する——マイケル・バクサンドールの方法を手がかりにして

4～15 発表及び分析

・2回で1つのユニット(初回が発表、次回が分析)とし、受講生は各自1つのユニットの担当者となります。

・担当者はパワーポイントによるプレゼン資料、印刷したレジюмеを準備して発表します。

・扱うテキストは以下のアンソロジーから受講生の関心に応じて決めます。A Documentary History of Art, selected and edited by Elizabeth Gilmore Holt, 2 volumes, Princeton University Press, Princeton, N. J., 1982.

・受講生数に応じて進行ペースを変えることがあります

6. 成績評価方法：

平常評価(授業における質問や意見に見られる参加度。単なる出席回数ではありません。評価全体の30%)

発表評価(担当するユニットにおける準備の度合いを見ます。同70%)

7. 教科書および参考書：

扱うテキストは以下のアンソロジーから受講生の関心に応じて決めます。A Documentary History of Art, selected and edited by Elizabeth Gilmore Holt, 2 volumes, Princeton University Press, Princeton, N. J., 1982.

8. 授業時間外学習：

担当するユニットにおける調査と分析、発表準備のために相当な時間が必要となります。担当回以外では、扱うテキストの読解、地域や時代、作品と作者に関する事前調べが必要です。

9. その他：なし扱うテキストは英語ですが、原文テキストとの対照や、訳及び註釈の作業ではそれ以外の外国語を読むことも必要となってきます。

科目名：美学・西洋美術史演習／ Aesthetics and History of European Fine Arts (Seminar)

曜日・講時：後期 金曜日 4 講時

セメスター：6, 単位数：2

担当教員：尾崎 彰宏（教授）

講義コード：LB65404, 科目ナンバリング：LHM-ART306J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：**

西洋美術に関する方法論の諸問題

**2. Course Title (授業題目)：**

Multifaceted problems of methodology on Western art history

**3. 授業の目的と概要：**

西洋美術史の雑誌論文や話題になった研究書を取りあげ、それを熟読し、その問題点や研究上活用できる研究方法について学び、議論を重ねていく。The Art Bulletin, Simiolus, Netherlands Kunsthistorisch Jaarboek に掲載された論文を中心に取りあげる。

**4. 学習の到達目標：**

西洋美術史の最新研究にふれながら、ルネサンス以降の美術作品の研究動向を熟知できる。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

第1回 イン트로ダクション

第2回 イタリア・ルネサンス美術関係文献 I

第3回 イタリア・ルネサンス美術関係文献 II

第4回 イタリア・ルネサンス美術関係文献 III

第5回 ネーデルラント美術関係文献 I

第6回 ネーデルラント美術関係文献 II

第7回 ネーデルラント美術関係文献 III

第8回 17世紀オランダ美術関係文献 I

第9回 17世紀オランダ美術関係文献 II

第10回 17世紀フランドル美術関係文献 I

第11回 17世紀フランドル美術関係文献 II

第12回 近世・近代美術関係文献 I

第13回 近世・近代美術関係文献 II

第14回 近世・近代美術関係文献 III

第15回 まとめ

**6. 成績評価方法：**

出席／平常点／レポートを総合的に評価する。

**7. 教科書および参考書：**

教室で指示する。

**8. 授業時間外学習：**

欧文の論文を前もって予習してくる必要がある。最新の論文であるから予習には相当の時間をかけて勉強することが求められる。また、そこで論じられていること、あるいは派生することを考えていくために、関連文献にあたる必要がある。発表者は学期に一度、担当論文を全訳する必要があり、計画的に自主的な勉強を続ける必要がある。

**9. その他：なし**

科目名：美学・西洋美術史実習／ Aesthetics and History of European Fine Arts (Laboratory Wor

曜日・講時：前期 火曜日 3講時. 前期 火曜日 4講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：尾崎 彰宏（教授）

講義コード：LB52310, 科目ナンバリング：LHM-ART307J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：**

西洋美術史の基礎知識と調査入門

**2. Course Title (授業題目)：**

Basic Understanding of Western Art History and Introduction to its Research Methodology

**3. 授業の目的と概要：**

西洋美術分野の基礎知識を身につけるとともに、美術作品の調査法を身につける。同時に博物館・美術館をいくつか見学し、展示法などについて考える。

**4. 学習の到達目標：**

美術作品の作品記述、写真撮影、カタログ化などをひととおり自分で行えるようになる。

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

1. ガイダンス、発表の仕方、展覧会評の書き方
2. 展覧会見学
3. 写真撮影の仕方
4. 調書の作り方、作品記述の方法
5. 発表
6. 展覧会見学
7. 学術文献、論文の探し方
8. 小テスト、発表
9. 小テスト、発表
10. 展覧会見学
11. 小テスト、発表
12. 小テスト、発表
13. 小テスト、発表
14. 小テスト、発表
15. まとめ

※展覧会の開催日程により、予定変更となる場合あり

**6. 成績評価方法：**

レポート、テスト、出席などを総合的に評価する。

**7. 教科書および参考書：**

教科書：H・W・ジャンソン『西洋美術の歴史』（創元社）

**8. 授業時間外学習：**

表の準備、小テスト対策（復習）、展覧会評の提出

**9. その他：**なし

科目名：美学・西洋美術史実習／ Aesthetics and History of European Fine Arts (Laboratory Wor

曜日・講時：後期 火曜日 3 講時. 後期 火曜日 4 講時

セメスター：6, 単位数：2

担当教員：尾崎 彰宏. 足達 薫 (教授)

講義コード：LB62310, 科目ナンバリング：LHM-ART307J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：**

美術作品の調査法について

**2. Course Title (授業題目)：**

How to look at art works and to discuss them deeply.

**3. 授業の目的と概要：**

◆授業内容：美術史は何よりも作品観察から出発する。この作品をどのように観察し、それを言葉で表現するか、そのためにはどのようなアプローチが必要かを学ぶ。

**4. 学習の到達目標：**

美術作品にかんするより高度な観察力と記述力を養うことができる

**5. 授業の内容・方法と進度予定：**

第1回 はじめに

第2回 空想の美術展の作成のための準備 I

第3回 空想の美術展の作成のための準備 II

第4回 空想の美術展のタイトルについて

第5回 空想の美術展のコンセプト I

第6回 空想の美術展のコンセプト II

第7回 美術館へ作品見学 I

第8回 空想の美術展の作品選定 I

第9回 美術館へ作品見学 II

第10回 空想の美術展の作品選定 II

第11回 美術館へ作品見学 III

第12回 空想の美術展の中間報告

第13回 空想の美術展の仕上げ

第14回 美術館へ作品見学 IV

第15回 空想の美術展の合評会

**6. 成績評価方法：**

出席／平常点／レポートを総合的に評価する。

**7. 教科書および参考書：**

ジャンソン『美術の歴史』、その他は授業時間に指示する。

**8. 授業時間外学習：**

できるだけ美術館、博物館に足を運びじかに作品に接するようにする。できれば、ヨーロッパの美術館へ出かけることができれば、大きく視野が広がる。

**9. その他：なし**